

認知症の人やその家族をつなぐ支援の輪

チームオレンジが始動しました

☎ 高齢介護課 ☎ 893-6400

チームオレンジとは

認知症の人やその家族の支援ニーズに合った、具体的な支援につなげるための仕組みづくりを行うチームです。かかりつけ医や地域のサポーター等をつなぎ、オレンジコーディネーターが全体の調整役としてまとめています。



支援までの流れ

- 包括に相談 → 認知症の本人または家族が包括に相談
- 包括から依頼 → 包括からオレンジコーディネーターに依頼
- 調整 → オレンジコーディネーターが本人・家族と面談、内容の確認、サポーターの調整
- 顔合わせ → 本人・家族と認知症サポーターの顔合わせ
- 支援 → 個別支援開始
- 評価 → 経過など面談の上、状況把握

今月の表紙



表紙は小学生向けの認知症サポーター養成講座の参加者です。講座では、認知症の人の見守りや声かけのポイントなどをお伝えしています。

サロン等への付き添い支援

認知症になって一人での外出が難しくなっても地域交流を続けていけるように、チームオレンジが支援をします。

対象 市内で在宅生活をしており、認知症やもの忘れ等がある高齢者で、サロンや老人会等への参加に支援を必要とする人

支援内容 ・自宅から地域のサロンや老人会等への誘い出し、付き添い
・サロンや老人会等参加時の声掛け、支援等

利用料 無料

「認知症の早期発見のために」

- ・脳に効く音読教室(14ページ参照)
- ・頭の元気度チェック(13ページ参照)

その他いろいろな施策やイベントがあります。詳細はお問い合わせください。

支援レポート Aさんの場合

もの忘れ症状から、いつも通っていた地域の体操に1人で通うのが、少し難しくなってきたAさん。サポーターに付き添いを依頼しました。

- 「さあ、体操に行きましょう」とAさん宅にお迎えに。
- 会館につきましたね
- 始める前に楽しくおしゃべり
- さあ、体操が始まりましたよ
- 次は、腕の体操ですよ
- 指の形はこんな感じ
- 帰り道…

「今日も楽しかったですね。また、来週、一緒に行きましょうね」

「サポーターさんが付き添ってくれて、本人も楽しく体操に通っています。」

Aさん 家族

地域で支えよう認知症

あなたの周りでこのような症状でお困りの人がいらっしゃいませんか？



⇒身近にこのような人がいたら 地域包括支援センター☎893-6426にご相談ください。
9/30(土)開催の認知症フォーラム(13ページ参照)にも、ぜひご参加ください。